

'92 広報

西遊

5月号 No. 382

霞ヶ浦ふれあいランドが完成

4月27日竣工記念式典（写真はテープカット）

できたぞ！ぼくらの芸術の城

「沖洲陶芸アトリエ」で
ファミリー陶芸教室を開催

財団法人自治総合センターによる平成三年度自治宝くじ助成事業で、沖洲区に陶芸や七宝焼き、そして竹細工等を樂しめるアトリエが完成しました。小さな自治会でアトリエを持つ例は県内でもほとんどなく、新しいコミュニティのあり方を示したものとかなり好評です。また、幼児から高齢者まで利用できる施設として、教育界から注目されると思われます。

沖洲区は、霞ヶ浦古墳文化



(上) 親子で茶碗づくり
(下) 沖洲陶芸アトリエ全景

とで、幅広い創作活動が推進され、子ども会、婦人会、老人会等での利用が待たれるところ。九月からは学校週五日制が月一回導入されることになり、大人の週休二日制とともに子どもたちも地域・家庭で過ごす時間が多くなる

宮路さんが「木内克大賞」に入選

「野外彫刻展」

玉造町沖洲在住の二科会彫刻家宮路久子さんの作品が「第一回木内克大賞野外彫刻展」

に入选し、四月四日から五月五日まで東海村あこぎヶ浦公園で野外展示されました。

野外彫刻展は、木内克（きのうちよし）生誕百年を記念して開かれたもの。全国各地及び国外からも数多くの出品があり、厳選審査により二十九点が入選となり、あこぎヶ浦公園に展示されました。

県内からの入選は宮路さんの作品を含めて二点だけ。

宮路さんの作品は、銅像『それを聴きに』。村松の松風を聴くイメージにピッタリ。

私は、わりと題をつけるのが好きで、『それを聴きに』は『それを聴きに』のれを省略した文語体。五人の女性が五つの方向を向いて、さまざまな未知の世界をみつめる。見る人によって、いろいろな解釈、見方ができると思います。

銅のかなみに、銅の棒を溶接して作りあげ、完成にはかかりっきりで半年もかけた大作。溶接は初めての作品で「まだ不満は残ります」と語る宮路さんは、さらなる作品の完成に意欲を燃やしています。



東海村あこぎヶ浦公園に展示された、作品『それを聴きに』



常陸国風土記の森に

彫刻を野外展示

このほど玉造町文化財顕彰会（成島謙二会長）では、町教育委員会とともに事業を進めてきた「常陸国風土記遺跡地歴史的環境整備事業」の一環として、泉地内にある愛宕神社ならびに夜刀神社下にこんこん清水が湧き出している椎井池の傍らに彫刻と説明文を刻んだ碑を建て、除幕式が関係者を招いて行われました。

この事業は、平成三年度から実施されている「文化振興基金」の運用金の中から顕彰会が助成を受け、地元玉造町の二科会彫刻家宮路久子さんの



常陸国風土記遺跡地銅像建立除幕式

っているため、少しでも多くの住民の方に郷土の良さを知ってもらおうと、町内五か所に年一か所ずつ建立して行くこととするものです。平成三年度は「椎井池と壬生連鷹の碑」をテーマに「銅像」を作成設置しました。

会長に飯田進さん（上山）

平成四年度区長会



平成四年度の区長会総会並びに第一回区長会議が、四月十六日に役場大会議室で行われ、会長に上山区長の飯田進さん、副会長に泉区長の仲島

椿吉さんと羽生区長の井野場弘さんがそれぞれ選ばれました。

なお、第一回目の区長会議には役場各課の課長も出席し、今年度の各課の事業内容を説明し、区長さん方に協力を要請しました。

平成四年度の役員は次のとおりです。

- 会長 飯田 進（上山）
- 副会長 仲島 椿吉（泉）
- 監事 井野場 弘（羽生）
- 松金 文雄（西蓮寺）
- 飯田 博俊（竹の塙）

ことし一年間重責を担う区長さん（第一回区長会議より）

「新田」チームが全国ゲートボール大会出場

来たる六月六日・七日の二日間、北海道の留辺蘂（るべしべ）町旭運動公園で行われる「第七回全国選抜ゲートボール大会」に、茨城県代表チームとして玉造町の「新田」チームが出場することが決定しました。

出場するのは「ミドルレディーズ」クラス。選手は、野原悦子さんを監督兼主将に、理崎なかせさん、野原たき子さん、野原和子さん、小沼文子さん、福田芳枝さんの六人。「新田」チームは、県大会で次々に強豪を打ち破り、見事全国大会出場を果たしました。選手の皆様ががんばって下さい。

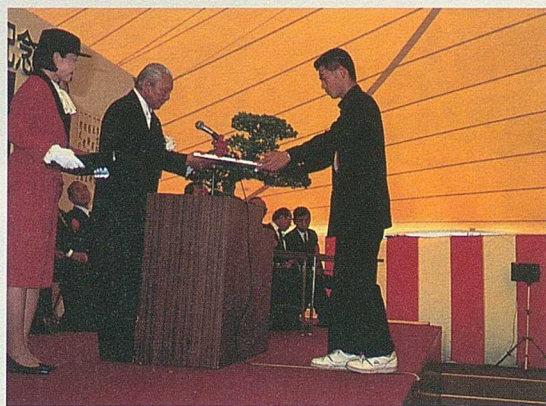


出場したメンバーの皆さん

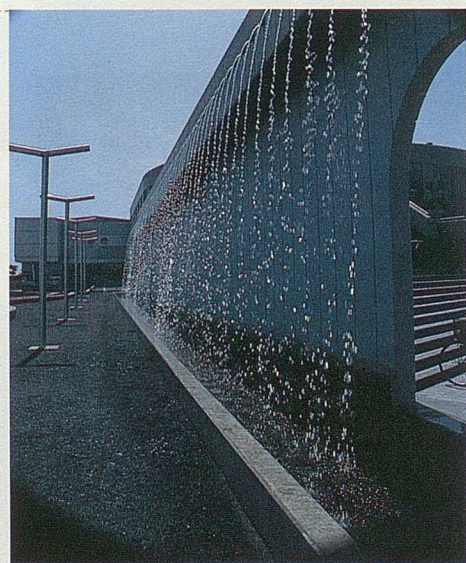
玉造に観光メッカ誕生!!



祝宴での鏡割



感謝状を受ける『霞ヶ浦ふれあいランド』の名付け親の額賀直樹君（内宿）



『水の科学館』の大滝



玉造町議会議員の皆さん



招待市町村長の皆さん



招待者の皆さん



招待市町村議会議長の皆さん

『霞ヶ浦ふれあいランド』



テープカットの後の「くす玉」開花

竣工記念式典より

完成が待たれた『霞ヶ浦ふれあいランド』の竣工記念式典が、4月27日に大勢の招待者が出席して盛大に行われました。午前11時に水の科学館入口でテープカット及びくす玉開花のセレモニーと続き竹内県知事・坂本町長・川本水資源公団総裁の3人による記念植樹がありました。

式典は、小澤町収入役の開式のことで始まり、式辞・事業経過報告・来賓祝辞・感謝状贈呈と続き、終了後はただちに祝宴に入り完成を祝いました。ここに、新しい観光メッカが玉造町に誕生しました。

来賓祝辞
(今泉潮来町長)



来賓祝辞
(協関東地方
建設河川部長)



式辞
(川本水資源公団
総裁)



開式のことば
(小澤町収入役)



来賓祝辞
(笹目町議会議員)



来賓祝辞
(横田県議会議員)



事業経過報告
(小沼町助役)



式辞
(竹内県知事)



閉式のことば
(渡辺町教育長)



来賓祝辞
(香取県議会議員)



事業経過報告
(横田水資源公団
霞ヶ浦開発事業建設部長)



式辞
(坂本町長)



4月29日オープン風景より

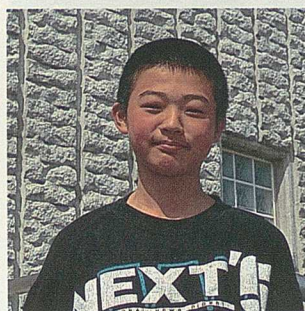
霞ヶ浦ふれあいランドの一般オープンが四月二十九日に行われ、約六千人の入館者でにぎわいました。「水の科学館」では映像やジオラマ・実験装置に人気が集まり、「玉造虹の塔」では三十分の待ち時間がでるほど長い列となりました。オープンの様子をカメラで追ってみました。



オープングレード



入館を待ちわびる皆さん、長い列が...



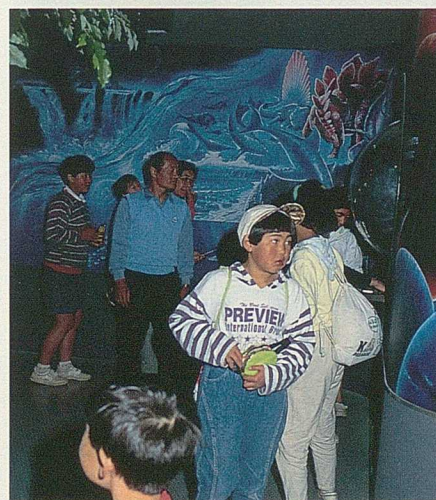
入館一番のりは玉造中三年生の熊岡良修君(羽生)。自転車で午前一時に到着とか...



いらっしゃいませ！インストラクターのおねえさん。



さあー入館だ！自動券売機前も列...



アーケードの中は、大昔の「水の起源」と「生命の誕生」。音響と霧の噴射でお出むかえ...

人体の60%は水。そこで「水の体重計」にのると、自分の体重の水がガラス管の内にドドドーッと



チャッチャブ劇場(シアター)。地球上の水の循環をアニメで紹介。



「茨城と霞ヶ浦」の映像シアター。霞ヶ浦の美しい映像が見られるよ！



地球上での水の利用が円球で一見でわかる

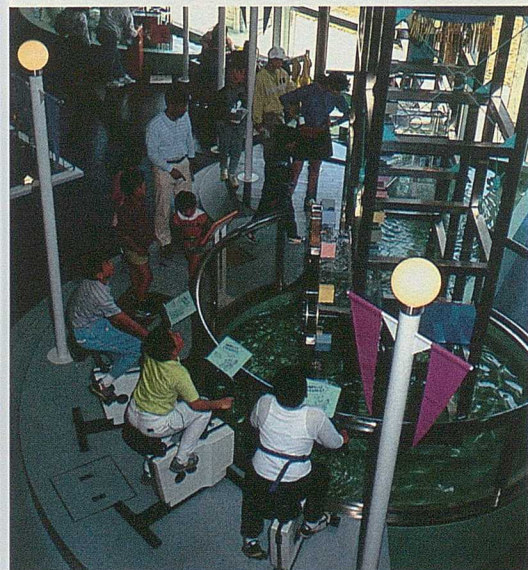


「エネルギーと水」コーナーには、おもちゃもあるよ

「大地と水」の実験装置。水の動きによる浸食・運搬・堆積作用の過程の様子がわかるよ！



霞ヶ浦の開発事業と管理を映像で紹介。社会科の勉強にもなるよ。



水を利用して様々なエネルギーを生み出している事を体験装置で学べる。さあー皆さんもアタックしよう。



玉のミュージアム。玉に関するさまざまな情報が学べるよ。
玉たちの100の物語の始まり始まり…



リックをかついだ仲良し四人組。玉造小の四年生四人。



虹の塔のエレベーター前に並ぶ皆さん

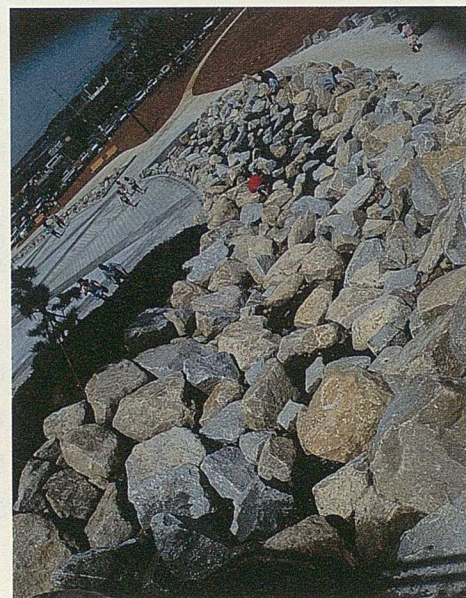


玉のミュージアム内部。

五九・セメートルの玉造虹の塔。晴れた日は富士山も見え
るよ。霞ヶ浦の大パノラマが楽しめます。



玉のミュージアムから、たまゆらの道を通ってたどりつくのが、この「水の丘」
ここから泉水が流れます。



「なぎさの水空間」。自然のけい流に似せてつくられてあり
岩や水あそびに楽しめます。



「水と科学」コーナー。水や波の姿を実験装置でわかる。



H₂Oランド。水の音が聞こえるよ。



おてだまの上手なピエロさんでした。



玉造虹の塔から、水の科学館を望む



H₂Oの分子構造や水のおはなしがパネルや実験装置で楽しめます。



こどもの遊びコーナー。
シャボン玉で遊べます。



ピエロさんはどこへ行っても人気もの。すぐに人が集まって、そのひょうきんさが大ウケでした。

文芸

短歌

窯出しし陶器は台に並べられ
貫入の音ひとしきりする
奥田 尚子
十七度春を数ふる眼裏に逝き
し日のまま子の顔が笑む
菅 谷 富 栄
老二人眼を見合せて笑い合う
ペコニヤの花映ゆる縁側
白 井 か ね
ビニールを覆ひいくすじ高畝
に葉煙草育つ山あひの畑
笹 目 久 子
バス停にまつわり止まず髪乱
す春めく風に背を向けて起つ
郡 司 春 枝
中学の子が持ちきたる赤い石
戦場ヶ原の土産とぞ云う
小 沼 正 蔵
年重ねたく育ちし接骨木の荒
く節立つ曝されし肌
小野口 トク
朝の陽に翼透かせて舞ひ下り
し白鷺立ちし水の動かず
久 米 妙 子
青深く孫の入学する明日の晴
れよと祈る雲動く空
鈴 木 節 子
誇る眼も探る眼も避け生きた
しと顔上げし娘は遠き眼をし

俳句教室

(鹿島灘吟行)

波に飛ぶつがいの鳥や春の海
松 本 霜 石
浜遠く砂山広く揚雲雀
永 野 一 碩
防風を掘るや今年も友と来て
小 谷 草 洞
防風へ散って一と日の土産も
鈴 木 夢 情
磯菜つむ腰まげ伸ばし少し
大和田秋海棠
風紋に足跡残し春惜しむ
鈴 木 和 代
絶え間なく春を寄せ来る波が
しら 長谷川鶏頭子
陽もさして風紋に陰あり春の
浜 茂 木 孝 子
春海に似つかぬ白き波の牙
飯 島 伸 子
防風を掘りし袋を下げて来し
山 野 草 月
春潮の飛沫乾きし石拾う
八 木 草 苑
散る桜庵舎の窓の明け放し
武田 淳 子

俚謡教室

(二二七回)

兼題「差・水・駄・礼・初・夏」
孫の成長高々泳ぐ
鯉にあやかれ初節句 咲子
差しつ差されつ花見の宴で
話題満開歌も出る しす女
試験合格願った神へ
今日は晴れ晴れ礼参りきよ女
風をはらんで舞う鯉のぼり
嬉し跡取り初節句 才衣
今日は春だが昨日はみぞれ
温度差がある菜種梅雨 竹堂
駄目じやなかった見合も三度
娘二十歳の結ぶ縁 幾代
早いお着きと都の客に 満喜
水の潮来の迎え傘
孫は二の次張り切る爺の
手繰るロープに初職 久子
浴衣着た娘の鼻緒が紅い
白い素足にうつる下駄 いなほ
花見葉桜田植えもすんで
つばめ飛び交う初夏の空
よしお
同時入社も次第につく差

資格テストに七名合格

公民館着付教室

このほど、公民館着付教室
受講生七人が「資格テスト」
に合格し、資格証が授与され
ました。合格されたのは次の
皆さんです。(敬称略)
▼師範着装講師資格証授与
佐 藤 由 美
▼着装講師資格証授与
大 曾 根 信 子
奥 村 洋 子



茅 場 八重子
橋 本 登美子
成 島 弘 恵
佐 藤 由 美
根 本 直 美

やはり学歴厚い壁 翠峰
若い思い出カラコロさせて
下駄で出てみる旅の宿 夢情
庭に打水箒目つけて 和代
友の笑顔のお出迎え 藤娘
税の重さは差別をつけぬ
金のある人持たぬ人 草人
伸びる若竹差をつけ乍ら
親の背を越すたのもしさ 正花
曲りくじけた松の木だけど
大工差し金梁に組む 有美
利根の流れに竿差す身でも
暮れりや潮来の灯が恋し
琴子
水に竿差す船頭さんが
潮来あやめに賭ける夢 義一
亡母の足跡あの足音が
残る形見の日和下駄とくじ
流す汗水塩ふく程の
百姓仕事も遠い夢 とく女
松の緑に枝垂れの桜
うつる水面の浜離宮 房子
粘る高校選抜野球
無念一点差に涙
春の夜寒に三匹四匹
駄々をこねてるうかれ猫 草女
水を学ぼうふれあいランド
町のリゾート虹の塔 訥也
護岸工事に水鳥たちの
住むにぬぐらの葦もない
青芦
水を向けてものつては来ない
あの手この手を思案する 美代

高校生会に感謝状

これまで町内を中心にボラ
ンティア活動を行ってきた玉
造町高校生会に、四月二十三
日茨城県子ども会育成連合会
(仁平正会長)より感謝状が
贈られました。
高校生会では、毎年行われ
ている茨城県ジュニアリーダ
ー研修会において、ボランテ
ィア活動の外、レクリエーシ
ョン等の指導者としての知識
・技術の習得を目指して参加

してきました。さらに、地域
での青少年活動のリーダー的
存在としての活躍が認められ
今回の表彰となりました。
高校生会では、昨年十月に
「第一回日立ヤングボランテ
ィア賞」を受賞したばかりで、
今後の活動に意欲を燃やすと
ともに、さらなる活躍に期待
が寄せられています。
なお、新年度を迎え玉造高
校生会では、新会員を募集し
ています。町内在住の高校生
で、興味・関心のある方はぜ
ひご参加ください。お問い合わせ
は、玉造町高校生会事務局
(玉造町教育委員会社会教
育係 ☎五五〇一一一)へ。

県政モニターに

安部 徳さん

平成四年度県政モニターに
荒宿の安部徳さんが選ばれ、
竹内知事から委嘱されました。
任期は一年で、県からのアン
ケートに答えたり、県民の立
場から県に意見や要望を述べ
たりします。

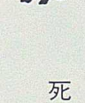
誕生おめでとう



産出

3月

おやみき



死亡

3月

とこ	氏 名	続柄	とこ	氏 名	年齢
下宿	関口 理佳	二女	長島	子年	六七
横須賀	高須 咲	長女	山口	きみへ	八三
横須賀	額賀 大	長男	鈴木	ヨシ	七七
下宿	宮崎 廉	三男	高野	すみ江	四三
新田	野原 瑞希	長女	鈴木	ヨシ	八三
柄貝	中田 知波	二女	川島	せん	八九
中山	萩 哲城	二男	横須賀	シゲ	九二
捻木	香取 和希	長女	加藤	末子	七〇
緑ヶ丘	千ヶ崎 綾香	長女	飯島	としの	四一
藤井	梅原 大樹	長男	田宮	照光	八四
上山	関口 舞	長女	甲 久雄	三三	八九

安部さんは農業の立場から
選ばれたもので、現在「茨城
県青年農業士」としても活躍
されています。

ゴールデンウィークの

入館者は約三万人

霞ヶ浦ふれあいランド

四月二十九日にオープンし
た「霞ヶ浦ふれあいランド」
の、ゴールデンウィーク(四
月二十九日～五月五日)期間
中の入館者数は二七、五六六
人でした。この数には四歳未



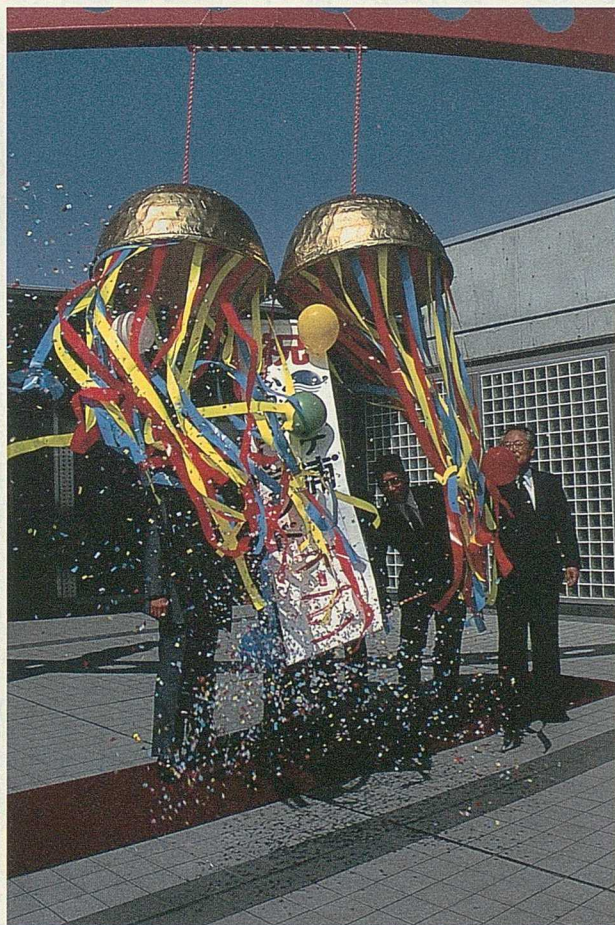
マスコットの
「みずまるくん」

期 日	入 館 者 数			計
	大 人	小 人	その他(招待者等)	
4/29(水)	2,662	2,840	17	5,519
4/30(木)	257	103	0	360
5/ 1(金)	908	84	41	1,033
5/ 2(土)	1,499	293	53	1,845
5/ 3(日)	3,451	1,968	118	5,537
5/ 4(月)	4,106	2,533	276	6,915
5/ 5(火)	3,781	2,380	196	6,357
合 計	27,566人			

「玉造虹の塔」の展望台より「水の科学館」と「霞ヶ浦大橋を望む」



4月29日のオープンでのくす玉開花



竣工記念植樹をする坂本町長

